



PC-6000NOTE ガイドブック

発行日：2011年8月1日 初版

印刷所：自宅

サークル：TinyProject

著者：Hashi / MORIYA / ONDA

<http://p6ers.net/hash/>

[hashi@ipc-tokai.or.jp](mailto:hashi@ipc-tokai.or.jp)

Twitter @Hashi6001

# PC6000 NOTE

Magazine  
For  
NEC PC-6001

## ガイドブック

MENU

スターコマンドΣ

スペースサタン

オリオン全キャラクタ大紹介

英語の不規則動詞テスト

世界初!!  
PC-6001による  
コンピュータ・コミックス

AX-1クイズ 正解発表 / 新作ソフトウェア紹介

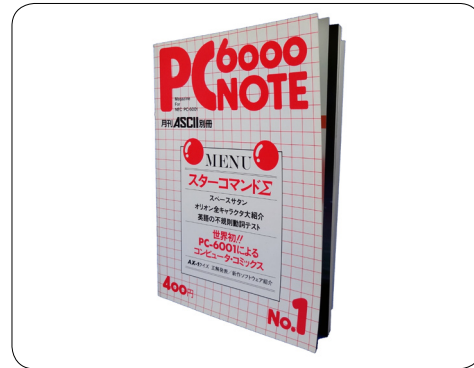
無料

No.1

# PC-6000 NOTE No.1 とは？

PC-6000NOTE No.1 という雑誌は、1983年に株式会社アスキーから、月刊 ASCII の別冊雑誌として発行されました。アスキーから発行されたということもあり、同社のソフトウェアタイトルである AX シリーズとの関係が強く表れた内容となっています。

雑誌の奥付によると、昭和 58(1983)年 2月 28日発行となっています。この頃の、AX シリーズが発売された時期を時系列で並べると、AX-6 が 1982 年の 8 月、AX-7 が 1983 年の 4 月でしたので、PC-6000NOTE No.1 は AX-6 と AX-7 の間の時期に発行された事になります。雑誌である PC-6000NOTE No.1 とパッケージソフト AX シリーズの発売時期に関係はなさそうにも思えますが、PC-6000NOTE No.1 の執筆陣には AX シリーズの開発者が多数参加していたことや、PC-6000NOTE No.1 に掲載されたプログラムをテープに収めたものが、AX シリーズと同じパッケージサイズでアスキーから発売されたので、多少なりとも、AX シリーズの発売に影響があったのだと思われます。PC-6000NOTE No.1 の本文でも、次期 AX タイトルとなる AX-7 の内容について触れていますし、AX-8 がデバッグ段階であるとも書かれています。(ただ、この直後に開発陣が MSX に携わったからか、AX-8 が発売されたのは PC-6000NOTE No.1 の発行から一年ほど後の 1984 年 4 月でした)



## どんな内容だったの？

PC-6000NOTE No.1 は 400 円 (消費税のなかった時代です) というお得な価格で 60 ページほどの厚さでしたが、その内容は非常に濃いものでした。雑誌の大半を占めているのは、“スターコマンドΣ”を始めとする 6 本のソフトの解説とプログラムリストで、400 円の雑誌に AX シリーズ並のプログラムが掲載されているという、とても贅沢な内容になっています。

雑誌表紙の中央を大きく飾るタイトルになっている“スターコマンドΣ”は、古典的名作ゲームであるスタートレックを進化させた内容のゲームです。説明記事には、AX シリーズのパッケージイラストを手掛けている岩崎政志氏によるカラーイラストがふんだんに使われ、ゲームの攻略方法などが 15 ページにわたって掲載されています。

この他には、オールマシン語のシューティングゲーム「スペースサタン」や、「バイオリズム」、テープラベル作成ソフトである「カセットラベルメーカー」、トーナメント戦の結果から順位を導き出す「トーナメント戦実力判定」、「英語の不規則動詞テスト」など、実用プログラムも含めたソフトがプログラムリストと共に掲載されています。

また、PC-6000NOTE No.1 発行時までには発売されていた AX-6 までの解説記事が掲載されていて、各タイトルの説明や攻略方法だけでなく、プログラムの改良方法なども掲載されています。特に AX-5 オリオンの記事では、1 ページほどですが、AX-5 のパッケージ付属の説明書にも掲載されていない、シーン 1 から 3 までの敵機の名前と弱点が図が掲載されていて、オリオンが好きな人にとっては、これだけでも価値のある内容といえます。

雑誌の後半では、後に発売される PC-6001 用のグラフィックソフト“GX-1 ピクチャーエディタ”を用いて描かれた、同ソフトの解説を兼ねた数点のカラーイラストと、同ソフトで描かれた「PLAY OLION WITH YOU!」というタイトルのコミックが掲載されています。

このように PC-6000NOTE No.1 は PC-6001 を軸とした雑誌なのですが、“みんながコレで燃えた！ PC-8001・PC-6001 永久保存版”に掲載されている上坂 哲氏のインタビューによると、PC-6000NOTE No.1 は AX シリーズの広報戦略の一環として発刊されたようで、その事もあってか、ゲームタイトルのレビュー記事が AX シリーズに限定されているように、アスキー以外から発売されていたソフトは掲載されていません。

## 執筆陣

編集後記には、雑誌制作に関わった方々の名が連なっています。その中には、のちに (株) ゲームアーツで PC-8801 のテクザーを手掛けた上坂 哲氏や池田公平 (五代響) 氏、同社の代表取締役を務めた宮路洋一氏など、今でも多方面で活躍されている方々の名があります。

## No.2 は？

PC-6000NOTE No.1 は、そのタイトルの通り、No.2 の発行を予定したものだったようです。巻末には次号の原稿を募集する告知がされていました。その一部を引用すると、“次の PC-6000NOTE は、今回の読者のみなさんの手によって作成されます。そこでアスキーでは、次のような原稿を募集します”と書かれています。ここから先は想像の域を出ないのですが、当時の他のマイコン雑誌同様に、読者からプログラムや音楽などを募集して、PC-6001 だけの雑誌を作っていこうとしていたようです。しかし、No.2 が発行されることはありませんでした。もしかすると AX-7 発売後に開発陣が MSX に関わった影響があったのかもしれませんが、AX-10 のマニュアルには「AX-9 の 3D フライトシミュレータは本来 PC6000noteNo.2 の目玉になる予定だった」という記述があり、AX-9 発表時には No.2 の発売は中止になっていたようです。

同人誌である PC-6000NOTE No.2 ~は、アスキー編集部や当時の執筆陣とは無関係ではありますが、現代の PC-6001 ユーザにより、PC-6000NOTE No.1 の意志を継いで制作された本として、とらえてもらえれば幸いです。

## テープ版 PC-6000NOTE No.1

雑誌の発売とほぼ同じ頃に、テープ版の「PC-6000NOTE No.1 スターコマンドΣ」が 2800 円で発売されました。内容は、雑誌版に収録されている 6 本のソフトをテープ化したもので、そのパッケージとマニュアルは、AX シリーズと同じ作りになっています。マニュアルの大半は雑誌版と同じプログラムリストです。AX シリーズは流通の都合からか、マニュアルに一般の書籍と同じような奥付が記載されているのですが、テープ版 PC-6000NOTE No.1 では「1983 年 3 月 5 日 第一版第一刷発行」となっています。

